

2022/6/27号

こんにちは、NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)です。

おらけんの活動に賛同いただき寄付をしてくださった皆様に、メールマガジンを送信いたします。
{EMAIL}宛てにお送りいたしております。

おらけんの活動報告や今後の予定などについて、適時配信予定です。
よろしく申し上げます。

今月は大ニュースです！
研究者が調査地ダナムバレイに訪問することが出来ました！
最新情報をお届けいたします。
また6月号より、アメリカの動物園のオランウータンを訪ねる企画がスタートします！

=====

おらけん 蔦谷の
ダナムバレイ最新情報

=====

2022年6月に理事の蔦谷がダナムバレイの調査地を訪れました。
2020年2月以来COVID-19のために現地に入ることができず、実に2年4ヶ月ぶりの研究者の訪問になります。
まず、老朽化していた調査小屋は最近改築され、内部はきれいになっていました。
長年調査アシスタントを務めてくれているピオは元気にしており、新しく加わったガブリエルは熱心に調査技術を学んでくれています。
ダナムバレイのボルネオ・レインフォレスト・ロッジも営業を再開しており、7：3くらいの比率で、国内と欧米のゲストたちの姿が見られました。

肝心のオランウータンたちもどうやら元気になっていたようで、約10歳になると推定されるメスのケイトは母親のリナから独立してすでにひとりで行動していました。

朝ネストを出てから夕方別なネストを作って寝るまで1日中ケイトを追跡できましたが、ほとんど休むことなくあちこち動きまわって、追いかけるのが大変でした。

母親のリナもせわしなく動きまわる性格で、これは親譲りなのでしょうか。

あるいは、このくらいの年齢のワカモノはエネルギーに満ち溢れているのでしょうか。

3日間しか滞在できなかったため他のオランウータンの追跡はできませんでしたが、フランジオスのソンや、生後間もないアカンボウを連れてた母親も複数確認されているようでした。

COVID-19以前のような元通りの調査ができる日が着実に近づいているように思います。

=====

おらけん田島の

アメリカ・オランウータン探訪記

1 シアトル編

=====

こんにちは、おらけん理事の田島です。

私はこの春から、アメリカ・ワシントン州へ研究留学にきています。

運悪く歴史的な円安と物価高のダブルパンチを受け、ラーメン一杯2,500円する国で、つつましい節約生活を送っています。

2か月過ごしてみて、いかに日本やアジアの国では食品が安くて美味しかったかを実感しています。

ただ人々は基本的に親切ですし、英語がたどたどしくても怪訝な顔はされません。

バスも一応時間通り来るので、今のところ生活面で不便さは感じていません。

さて、せっかく来たアメリカで、いくつか有名な動物園をめぐるってオランウータンを見て回りたいと考えており、そのレポートをこちらに寄稿します。

全4回を計画しています。

※メルマガには写真を添付できないので、写真はおらけんHPに掲載します。

↓

<https://www.orangutan-research.jp/news/report/20220625.html>

●第1弾 ワシントン州シアトル・ウッドランドパーク動物園

まず最初は領事館で手続きのため訪れたシアトルから。

シアトルで有名なパイクレイスマーケットやスペースニードルタワーのある中心部からバスで15分ほど北に行ったところに、ウッドランドパーク動物園があります。

世界的に有名な動物園で、学生の頃に読んだ書籍や講義で紹介されていたこともあり、一度は行ってみたいと思っていました。

サバンナゾーン

園内に入るとまず正面にウッドランドパーク動物園の看板展示であるサバンナゾーンがあり、その広大な空間に圧倒されます。キリン、シマウマ、カバ、パタスモンキーが混合飼育されているようで、それぞれの住処となるエリアを来訪者が巡る形式です。

あれほど巨大なキリンがここではとても小さく見え、丘の向こうからちらちら頭が見える程度です。

人工物も視界に入りません。

いったいこの放飼場はどれほど大きいのでしょうか。

ウッドランドパーク動物園では動物の生息地の雰囲気を経験するランドスケープ・イマージョン形式の展示が有名です。

訪問者が野生動物の景観に「ひたる（immersion）」ことで生息地について学ぶ機会を設けることを目的にデザインされています。

動物も熱帯アジア、アフリカサバンナ、アフリカ森林といった地域と生態系ごとにまとめられて展示されており、疑似体験を意図してデザインされています。

オランウータンの森

その先に待望のオランウータンがいました！

放飼場は見下ろす形式で奥行きや立体感が感じられ、コンクリやモルタルで基礎は作られているのですが、植栽が多いことと滝や小川があることが印象を変えていました。

やはりアメリカでもオランウータンは人気者。

麻袋をかぶり、ハンモックをよく利用するのは日本の動物園と同じ光景です。

ここには多摩動物公園のようにボランティア解説員の方がいらっしゃり、ここに現在いる3頭のオランウータンを紹介してくださいました。

Heranという名の立派なフランジオスはボルネオとスマトラのミックスです。

フランジの形はボルネオ種のように体毛の色の明るさはスマトラ種のように、両種の特徴が混在してみられます。

彼は30歳代のオスで、30年前にはオランウータンは1種とされていましたが、その後ハイブリッドと分類されるようになり、繁殖計画からも除外されているようです。

10歳代のGotekはまだ幼さもありながら徐々にオトナになっていく時期でした。

Belaというメスを追いかけていました。

展示の中ではオランウータンが絶滅危惧種であること、現地での保全の取り組みについても説明がされていました。

ウッドランドパーク動物園はとにかく広大さが印象的で、園内をゆっくり歩きまわると一日があっという間に過ぎるほどです。

この日は週末ということもあり、多くの家族連れでにぎわっていました。

放飼場も柵が見えず、本物の生息地の広大な景観としてデザインされています。

シアトルを訪れた際は、ぜひ一度生息地の景観にひたってみてはいかがでしょうか。

次回はオランウータンの保全活動のサポーターとしても有名なオレゴン動物園に行ってきます！（田島）

=====

スマトラ島のオランウータン動画第3弾

「O I C～スマトラオランウータンを守る手」公開

=====

スマトラ島のオランウータン動画第三弾です。

今回は、現地保全団体のオランウータン・インフォメーション・センター（O I C）の活動を紹介します。

この動画はおらけんからO I Cに直接作成を依頼し、できた動画に字幕をつけたものです。

保全の最前線で撮られた映像は臨場感があり、活動する人々の真剣なまなざしや手や背中が印象的です。

少し長い動画（約13分）ですが、じっくりとご覧いただきスマトラの森で今起きていること、またその森を守ろうとする息吹を少しでも感じていただければ幸いです。（川嶋）

●オランウータン・インフォメーション・センター（O I C）とは

スマトラ島のオランウータン保全に関する活動を行っているNGO。

インドネシア・スマトラ島北部のメダン市に本部を持ち、スマトラオランウータン・タパヌリオランウータンの生息地を活動範囲に、オランウータンの救出・保護や、森林パトロール、森林再生、地元住民への環境教育、エコファーミングなどを行っている。

2001年にPanut Hadisiswoyo氏（動画のナレーションはPanut氏本人によるもの）によりインドネシア人自身で運営する団体として設立された。

以後着実に活動を広げ現在は100名以上のスタッフが日々活動している。

O I C公式ウェブサイト

<https://orangutancentre.org/>

動画は下記リンクからご覧ください。

（外部サイトに移動します）

↓

<https://youtu.be/8m8JqA95bV4>

=====

継続して活動に取り組むための

ご寄付のお願い

=====

●日本オランウータン・リサーチセンターの活動は、会員様からの会費とご寄付によって支えられています。

皆さまからのご寄付は、オランウータンの調査や保全活動、講演会のために大切に活用させていただいております。

オランウータンを守るためにも、ぜひ皆さまからのご支援をお願いいたします。

◇【賛助会員】

当NPOの活動理念に賛同し、団体の活動を応援・支援してくださる会員様を募集しています。

https://congrant.com/credit/form?project_id=1077

◇【1回の寄付】

1回ずつその都度ご寄付いただく単発の寄付も募集しています。都度寄付は皆さまがご支援いただけるお好きなタイミングで、その都度ご寄付いただくプランです。ご寄付の時期や金額もその都度、自由にお決めいただくことができます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2057

◇【毎月の寄付】

毎月少額のご寄付をいただき活動を支えるマンスリーサポーターの方を募集しています。お支払いは月額1,000円・3,000円・5,000円からお選びいただけます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2058

=====

【編集後記】

暑さにまだ慣れていない6月に、体温を超えるような気温になり人間はバテ気味です。

でも植物は、少し前まで寒いくらいの日が続いたので、やっと成長できると元気いっぱいなのは。

近所のお店で、オランウータンが好きそうなドリアンが並んでいました。

おいしい果物を食べて、元気を取り戻したいと思います。

ダナムバレイのケイトのようにはなれそうにありませんが。（那須）

今後もオランウータンについて様々な情報を発信していきますので、オランウータンや研究のことなどについて興味をもっていただけると嬉しいです。

よりわかりやすく、おもしろいメルマガにするために、サポーターの皆さんからご意見、ご感想をお待ちしています！

事務局メールアドレス：

info@orangutan-research.jp

=====

■ NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)

Japan Orangutan Research Center (JORC)

<http://orangutan-research.jp>

■ facebookにて、おらけん最新情報を発信中！

<https://www.facebook.com/orangutan.research/>

■ 登録解除やアドレス変更は、下記アドレスまでご連絡ください。

info@orangutan-research.jp

◇メルマガ解除はこちらよりも行うことができます。

{DELURL}

=====

{YEAR}年{MONTH}月{DAY}日{HOUR}時{MINUTE}分{SECOND}秒 {WEEK-JP}曜日